

緘黙カフェの開催

スモールステップカフェ

◆ プロジェクト始動のきっかけ

スモールステップカフェは、場面緘黙の当事者が安心できる環境の中で、社会とのつながりを体験する場を提供することを目的とした取り組みです。これまでに、富山・東京・茨城など全国各地で開催実績がある活動です。

名称には、段階的に挑戦することで社会参加を目指す「**Small Step（小さな一歩）**」と、誰もが安心して集える温かな場所を意味する「**Cafe**」という想いが込められています。

今回、私たちはスモールステップカフェの運営者との共同主催により、「**カフェスタッフ体験イベント**」を開催しました。場面緘黙を持つ方々が、安心できる環境の中で「**自分のペースで働く**」体験を行う機会として実施しました。

◆ プロジェクト目的

主に、以下の三つの目的のもと、プロジェクトを行いました。

- ・ 流暢に話すことが難しい場合でも、自分らしく関われる仕事体験を通じ、自信と達成感を得ること
- ・ 来場者に「場面緘黙」について知ってもらい、理解と共感の輪を広げること
- ・ 当事者・支援者・地域の人々が交わる「共生の場」をつくること

◆ 活動内容・成果

・ カフェスタッフ体験

場面緘黙症を持つ方々がカフェスタッフとして参加し、受付、案内、パフェ作成、メニュー提供などを担当しました。スタッフ同士が声をかけ合いながら協力し、自然な形で「**助け合う職場体験**」を行いました。



・ 来場者との交流

イベント後半には、来場者とスタッフがお茶を飲みながら交流する時間を設けました。話せる方は口頭で、話しにくい方はカードやメモを使用するなど、それぞれに合った方法で交流を行いました。
来場者からは、「場面緘黙を初めて知った」といった声も寄せられました。

イベント参加者の体験の様子

・ 学びと共有の場づくり

会場には、場面緘黙に関する本や体験談の展示を行いました。興味を持った来場者に対しては、スタッフが自身の経験を語る場を設け、理解を深めてもらえるよう工夫しました。



体験スタッフが自身の経験を語る様子

◆ 活動を終えての思い

本プロジェクトは、当事者にとって社会参加への小さな成功体験となり、次の挑戦への自信につながったと考えられます。

また、来場者および運営である私たちにとっても、場面緘黙症を知り、理解を深める機会となりました。

最後に、本プロジェクトに協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。